



きょうちくとう



【編集・発行】広島市地域女性団体連絡協議会

〒732-0822 広島市南区松原町 5-1

【発行責任者】会長 山田 豊子

BIG FRONT ひろしま 5 階

広島市総合福祉センター内

【編集担当】西区女性会

TEL 082-568-0207 FAX 082-568-0231

ホームページ : <http://cyberbb.com/hjd/>



会長あいさつ

広島市地域女性団体連絡協議会
会長 山田豊子

令和 6 年度は、能登半島地震や羽田空港の航空機事故などで、心痛む年明けとなりましたが、コロナが 5 類になり私たち女性会の活動も少しずつ活発になりました。

令和 7 年の年明けは、サッカースタジアムピースウイング広島の完成により、街の景色が美しく環境もずいぶん変わったことです。赤や紫のユニホームを着たファンが行きかうようになりました。また、広島駅は新駅ビル「ミナモア」が完成し、駅周辺の賑わいも増してきています。市内電車が駅に入る工事を、ビッグフロントの市女連事務所からその一部始終を見渡しています。そんな中、私たち市女連も前進しなければと思い、一つ一つの活動を進めていく中で何か見つけたいと思っています。

今年、被爆 80 周年であり、昨年被団協がノーベル平和賞を受賞されたことで、私たちも一段と「平和とは」と原点に戻りたいと考えております。しかしながら今もウクライナやガザ地区での争いが続いており、報道などで悲惨な状況を目にすると、心が痛みます。先日、広島市では小学校の卒業式で、校長先生から手渡される卒業証書の用紙が平和公園の折り鶴の再生紙で作られていることを子供たちに伝えられました。

活動の 1 つとして何を次世代に継承すべきか、またどう関わっていくべきか会員の皆さまとともに考えていきたいと思ひます。

よろしくお願いいたします。

令和 6 年度市女連女性大会

西区南観音女性会 西原繫子

2024 年 10 月 31 日 (木) JMS アステールプラザ中ホールで女性大会が開催されました。

今年度の講師は断捨離®提唱者のやましたひでこ先生でした。

早速我が家もきれいにしたいと思い、最初に食器棚に挑戦しました。一度も使用していない器、数が多い器は必要な数だけを残してスッキリしましたが、結局大部分が元に戻ってしまいました。「もったいない」心が強力に出てきてしまいました。次は洋服に挑戦しました。何年も袖を通していない服がかなりあり、元に戻そうかと思ひましたが、「そうだ、公民館まつりであるバザーに出して、誰かに拾ってもらおう！」と思ひつきました。これも断捨離ですね。少しずつ意識をしながら、習慣づけしていきたいと思ひます。



なでしこ募金報告

女性大会当日皆さまより募金していただきました金額は 52,854 円でした。

ご協力ありがとうございました。

皆さまからお預かりした募金は DV 被害者支援としてシェルターに送金いたします。

次世代リーダー研修

～能登半島地震の状況、日本赤十字の活動～

安佐南区戸山女性会 大石晴美・木ノ下容子

令和6年1月1日、能登半島沖を震源地とするマグニチュード7を超える大地震が起きました。研修会で地震発生直後の大変だった活動内容を知りました。私達女性会も自分たちにできる支援活動としていろいろなところで寄付や義援金を送るなどの活動をしてきました。

地震後1年が経ちましたが、被災された方々が地震発生前の生活に戻るには、まだまだ長い時間が必要であり、持続的な支援が必要です。これからも私たちにできることを考え、支援を続けていきたいと思います。



※アンケート報告

1. 今日の報告を受けた感想

- ・被害現場の状況がりがいできた
- ・日赤の活動を知ることができた
- ・支えあうことが大切だと思った

2. 災害時、支援できることは

- ・炊き出し
- ・傾聴
- ・物資を送る 募金

3. ご近所との声かけができているか

- ・普段から声かけをしている
- ・あまりしていない
- ・町内会で交流ができている

4. 災害対策

- ・防災グッズ
- ・飲料や食料の3日分を準備している

5. 日赤の訓練や研修は受けましたか

- ・受けた 25% 受けてない 61%

6. 研修を役立てていますか

- ・役立てている 18% いない 11%

そのほか、たくさんの回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

日帰り研修旅行に参加して

中区白島女性会 堀田由美子

6月19日、まず西区の「木下大サーカス」へ。ピエロ、動物、3台のオートバイのショーなど、みんなすっかり子どもにかえって声が枯れるほど楽しみました。半兵衛で昼食をすませ、広島赤十字・原爆病院へ。血液センターで献血された血液が輸血用血液になるまでの作業を30分かけて見学しました。多くの人の手によって完成されることを初めて知り、たくさんの人に献血してほしいと思いました。災害時には赤十字病院の屋上ヘリポートから支援物資が届けられると聞き、心強く思いました。また、敷地内のメモリアルパークで被爆遺構を目にし、平和への決意を新たにしました。大変有意義な一日でこの研修企画に感謝いっぱいです。



日赤奉仕団における

青少年の活動に思う

中区幟町学区女性会 森田禎絵

令和6年10月26日(土)に「日赤青少年県民会議」が、YMCAホールにて行われ、中区女連からは9名参加させていただきました。前半では、各学校の1年間の活動報告と今後の活動についての発表があり、どの学校も熱心に活動され、真摯に取り組む姿勢にとっても感心しました。後半は、中学校、高校などに分かれて分科会が行われました。中学生は防災教育プログラムから広島の豪雨災害における避難行動についてのシミュレーションを発表したり、高校生は救急法競技会を実施し人工呼吸やAEDの使い方など真剣に取り組んでいました。

昨年は能登半島地震災害に始まり、豪雨災害、冬は大雪被害に見舞われ、日赤奉仕団の活動は休まることはありません。中高生の濃い活動報告を見聞きし、私たちも奉仕団の一員として思いを新たにしました。

安佐北区の活動

安佐北区可部南女性会 小泉小夜子

広島市の区の中で、一番土地も広く山も多い地域が安佐北区です。私達の年間行事は、研修会、講演会、スポーツ交流会そして皆さんの胃袋を満たす、うどん作りがメインの行事です。「可部連山トレイルランあさきた元気フェスタ・各区の公民館まつり」では、朝早くから会員さんの助けを借り湯煎する釜、出し汁を入れる釜、具材を入れる係、テキパキと流れる様子はまるで職人そのものです。「うどん一丁」を合図にうどんは容器に移り化粧するようにトッピングが始まりお客様の手に渡ります。返却時に「美味しかったよ」と笑顔を頂き無上の喜びを感じ、明日への活力となっています。



安佐南区の活動～人との繋がりを大切に

安佐南区 西川富江

安佐南区女連では、会員の交流を深めることを目的とし、10年以上続いている「室内ペタンク大会」、また年に1度の研修旅行と室内研修会を行っています。「ペタンク」を始めた当初



はルールもわからず、区内のスポーツ推進委員の方にお世話いただいていたのですが、ここ数年は自分たちで審判・運営も行っています。研修

旅行は1月となってしまいますが、今年も大型バス1台満員で、楽しい一日を過ごさせていただきました。室内研修として、音楽療法の先生をお迎えし、『音楽で心も体も活性化』と題し、あっという間の2時間を心豊かに楽しみました。

文化教室発表会に参加して

市女連文化教室 ヨガ教室 新山幸枝

令和7年2月23日、ヨガ教室ではバザーとして参加いたしました。今まで見たり買ったりしたことはありますが、売る立場で参加するのは初めてのことでした。

ヨガのメンバーから寄せられた品物に値段をつけることからはじまりましたが、出品していただいた方々のことを考えると、なかなか値段が決まりません。四苦八苦していると経験のある方がきて、ぽっぽと決めてくれ、あっという間に終わりました。

当日はたくさんの皆さまが立ち寄ってくださり、目まぐるしいほどでした。終わってみるとほとんど売れており、買ってくださった方々に感謝しております。ありがとうございました。当日はいろいろな催し物が発表されていたようですが、ほとんど見に行くことができて残念でした。次回はゆっくり見物したいと思います。



全国政令指定都市を結ぶ Zoom 会議

佐伯区藤の木学区女性会 井戸董子

令和 6 年 6 月 10 日、全国政令指定都市を結ぶ会議と交流会を実施しました。参加団体は名古屋市 20 名、川崎市 5 名、北九州市 15 名、広島市女連 9 名、各都市職員 7 名でした。参加者の自己紹介から始まり、各団体の近況・取り組みを紹介、これからの女性会活動（情報発信と参加の促進、リーダーの育成）について意見交流をしました。高齢化が進んでいる、退会者が増加している、若い人の入会がない等、悩みは同じでした。実際に会わなくてもオンラインにより画面を通して情報交換ができ、人と繋がることのできることに戸惑いを感じながらの会議でした。

全国政令指定都市をつなぐリモート会議

市女連会長 山田豊子

11 月 18 日(月)午後より市女連事務所にて、6 月に続いて今度は会長のみの政令指定都市リモート会議を行い、今後の展開について話し合いをしました。各都市での悩み、活動に関する悩み事は同じであってもそれぞれに向けての事例や解決策はとて差があると感じました。今後は、各団体の活動資金や収入源の方法など情報交換することを決めてリモート会議を終了いたしました。

令和 6 年度市女連新年互礼会

佐伯区水内女性会 武田君枝

令和 7 年 1 月 24 日、リーガロイヤルホテルにて恒例の新年互例会が開催され、今年は積雪の心配もなく参加させていただくことができました。松井市長をはじめ、多くのご来賓の参加のもとに幕を開けた互礼会…区長を囲んでの、各区からのアトラクション、美味しい料理や飲み物をいただきながら、楽しい時間は瞬間に過ぎていきました。久々に会う他区の会員さんとも交流を深めることができ、フィナーレは全員で「市女連の歌」を斉唱して幕を閉じ、今後の活動の原動力となりました。

新集会所 と とんど

中区中島女性会 澤井マユミ

令和 6 年 12 月に落成式を済ませて新集会所が出来上がりました。引っ越しの際、女性会も手伝いました。広い部屋で、明るくてとても気持ち良いです。

中島地区社協主催、なかじまエルモの行事「ふれあいとんどまつり」が吉島公園のグラウンド内で行われました。女性会も前日、看板づくりと 60kg のもち米を洗って、朝晩、水を取り替えました。当日は PTA の方が餅つき、丸めて仕上げました。吉島中学校の生徒さんたちが平和公園から火をもらって、リレーでとんどに点火し、中島小学校の児童さんたちは、「よさこい」を踊りました。力強い掛け声に寒さも吹っ飛びました。ぜんざいと、おもちに長い列ができ、ぬくぬくのおもちとぜんざいを配りました。みなさん、「温かいね」と喜ばれました。ご協力いただいた皆様、感謝いたします。



編集後記

西区女性会

春というと暖かく嬉しい季節ですが、花粉症の方は少し憂鬱な気分にもなりますよね。私もその一人ですが、初めて広報誌編集を担当させていただき、皆さんのはつらつとした活動報告を読みながら、元気のお裾分けをいただきました。ご協力いただきました皆様、心より感謝申し上げます。